

令和7年度 救急救命講習会

7月22日(火)と23日(水)に、福島市消防本部の御協力のもと、新転入職員を対象とした救急救命講習会を実施しました。1日2部制で、2日間に分けて行いました。

心肺蘇生法(胸骨圧迫)とAEDを使用した救命措置や、気道異物時の対処方法について御指導をいただき、医療機関に搬送するまでの間の応急的な処置の知識や方法を学ぶことができました。

【胸骨圧迫とAEDを使用した救命措置】

【心肺蘇生法の手順】

- ① 安全を確認する
- ② 反応を確認する
- ③ 119番通報と助けを呼ぶ
- ④ 呼吸の確認
- ⑤ 胸骨圧迫
- ⑥ 人工呼吸
- ⑦ 心肺蘇生法
(胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ)
- ⑧ AEDの準備
- ⑨ 電極パッドを貼る
- ⑩ 心電図の解析と電気ショック



胸が5cm程度(単3電池1本分)沈むまで、しっかり圧迫。1分間に100回のリズム。



電極パッドは、心臓を挟むように、胸の右上(鎖骨下)と左脇の下に貼る。



ショックボタンを押す前には、誰も触れていないことを確認!

<注意点>内臓を痛める可能性があるため、実施した場合には、救急隊にその旨を伝える。高度肥満者、妊婦、乳児には行わない。

【気道異物時の対処方法】



喉に何かが詰まった時、喉元を押さえるのが世界共通のサイン



背部叩打法

体を斜めにし、手のひらの付け根で左右の肩甲骨の間を力強くたたく。



腹部突き上げ法

後ろから手を回し、へそより少し上に握りこぶしを当て、すばやく手前上方に向かって圧迫する。

異物が除去されない時